

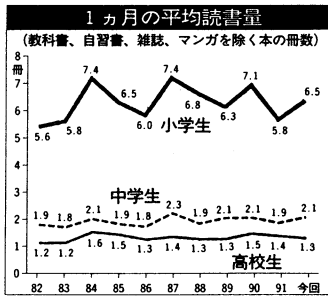
子どもと読書

一九九三年三月、作家の井上ひさしさんを会長に、関係十五団体が集まり、「子どもと本の出合いの会」が結成されました。子どもの本離れが叫ばれているこの時期に、子どもの読書環境を豊かにする運動がはじめられたのです。「ものを考えたり表現したりする基礎となる言葉は、本を読むことで獲得していく。子どもたちが本を読まないのは、その意味でも非常に心配」と、井上さんは会結成の動機をこう語っていました。

全国学校図書館協議会が調査し発表した、第三八回「学校読書調査」(毎日新聞・一九九二年十月二十八日付)でも、十年前と比べて一カ月に一冊も本を読まない子どもは、小学生は七↓十二%、中学生は四十二↓四十六%、高校生は五十六↓六十%と増えています。特に高校二・三年の男子においては七割を超えています。ところが、平均読書冊数に目を向けてみると、十年前とほとんど変化がないのです。つまり、一カ月に一冊も本を読まない子どもに対して、一カ月に十冊以上読む子どもも増えていることになりました。

「読む子」「読まぬ子」、広がる差(毎日新聞の見出し)、これが今の子どもたちの読書の現状のようです。

しかし、「読む子と読まない子」の問題は今



にはじまったことではありません。ただ、現在は子どもの本だけでも一年間に三千点以上も出版されていて、ジャンルも絵本・文学から科学まで多種多様です。公立図書館においても、児童室の充実が図書館運営の主要な柱となつていきます。地域の自主的な子ども文庫も、四千を数えています。十年前に比べれば、本を読める環境は確実に整つてきています。子ども身の身近な所に本は増えているはずなのに、なぜ本を読まない子どもが増えているのでしょうか。

子どもが変わったのでしょうか。

いえ、子どもは変わらないと思います。もし変わったとするならば、子どもを取り巻く環境だと思われれます。受験競争の低年齢化、それによる塾通い、けいこ事、体育教室、クラブ活動など、日常生活がとて忙しくなっています。それに加えて、TVをはじめ情報メディア、ファミコン、ゲームボーイなどの普及により、子どもたちの楽しみ方も拡散化しています。これでは、ゆつくり読書を楽し

む時間も、心のゆとりも少なくなつてしまいかもしれません。まして、絵本や本もビデオソフト化により、「読まなくても、映像でも「読める」ようになってきているのですから。「読書」をするためには、何が必要なのでしょうか。

まずは、読みたい本を自由に手にすることのできる場所(特に、学校図書館の整備・充実)、それから、本さがしの手助けをしたり励ましてくれるおとな(両親であったり、図書館の職員であったり、文庫の人であったり)の存在と、そしてなによりも、自由な時間が必要だと思えます。自由な時間、そして心のゆとりがあれば、子どもはたつぷりと「読書」の喜びにひたれると思えます。

井上さんは、「子どもと本の出合いの会の運動は、半分はおとなに向けての仕事と思つている」と話しています。今の本離れは、子どももおとなも同じです。まずは、おとなが本を手に取り、豊かな読書環境を作っていくなければと思います。

質問と回答

(数字は%)

◆本

【問】あなたは、最近1カ月の間に本を何冊ぐらい読みましたか。借りて読んだ本も入れてください。(教科書、マンガなどを除く)

	小	中	高
0	冊 12	冊 46	冊 60
1	冊 11	冊 16	冊 14
2	冊 12	冊 11	冊 9
3	冊 12	冊 8	冊 6
4	冊 8	冊 5	冊 3
5	冊 9	冊 4	冊 3
6	冊 8	冊 3	冊 1
7	冊 3	冊 1	冊 1
8	冊 3	冊 1	冊 1
9	冊 2	冊 0	冊 0
10~15冊	冊 11	冊 3	冊 1
16冊以上	冊 10	冊 1	冊 1
無回答	冊 0	冊 0	冊 0

◆雑誌

【問】あなたは、最近1カ月の間に雑誌を何冊ぐらい読みましたか。週刊誌もすべて1冊として数えてください。

	小	中	高
0	冊 17	冊 14	冊 15
1	冊 14	冊 9	冊 8
2	冊 12	冊 10	冊 11
3	冊 10	冊 10	冊 12
4	冊 10	冊 12	冊 11
5	冊 8	冊 10	冊 10
6	冊 6	冊 8	冊 6
7	冊 3	冊 4	冊 4
8	冊 3	冊 4	冊 4
9	冊 1	冊 2	冊 2
10~15冊	冊 8	冊 9	冊 11
16冊以上	冊 8	冊 6	冊 5
無回答	冊 1	冊 1	冊 1

第38回学校読書調査
毎日新聞(1992年(平成4年)10月28日)